

放課後等デイサービス キッズボンド柳森 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・個人の身長に合わせて机と椅子を調節しておりパーソナルスペースが確保できている。 ・使用しない学習机は端に寄せてスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			・正職員が休みの時は資格のあるパート職員を配置している。 ・3人に対し職員1人が必ず配置されている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	2	・利用児童の中に肢体不自由児がいないため、バリアフリーではないが、配慮が必要な場合はスロープや手すりなど考慮していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	4		・改善のための意見は出やすいが、全体での振り返りに及んでいないケースがあるため、都度話し合っていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		・毎年評価表を配布し、結果をまとめた後、改善していくための話し合いを行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		・ホームページで公開していることを職員全員に周知していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3		・第三者(市の福祉課や相談支援員)等の関わりのある方からの意見を取り入れている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・月に2回以上のオンライン社員研修や実地研修を行い支援の質の向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・相談支援員や公認心理士と連携を取り、検査結果や保護者、本人の意向を通して、支援計画書に反映させるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			・キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・イベント内容を相談する時間を設けて職員で話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2		・類似したイベントは前回の反省点等考慮して実施。(幅広い学習支援)
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			・利用時間によって課題や活動内容を相談して設定している。 (無理の無い時間設定・内容)
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・それぞれの状況に応じて、『個別』と『集団』の活動を組み合わせ計画を作成している。(個人に合わせた目標設定)

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・時々受け入れ前ミーティングが抜けたり、パート職員との共有が確実でなかったりすることがあるが、そういう時はグループLINEで共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	5		・支援終了後は送迎があるため、パート職員との共有が難しい為、気づいたこと、や疑問点などは都度共有するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・支援記録を電子化し、全職員がその都度事実を記録する態勢が整っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・原則、半年に一度、保護者様にモニタリングのお時間を頂き、送迎時などに実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1		・学習支援に5領域やガイドライン総則の基本活動を意識している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・公認心理士をはじめ、児発管が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			・学校との情報共有は必要に応じて、電話や連携会議を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	1	・現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、今後、受け入れ可能となれば連絡体制を整える準備はある。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4		・小学生以上が利用しているため、該当児童はいない。 ・必要に応じて情報共有は可能。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			・必要に応じて情報共有は可能。 ・相談支援事業所を介して希望があれば可能。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		・必要に応じて連携したり、研修を受けたりしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	・障害のない児童との交流は行っていないが、公共の場で活動することはある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	3	・必要に応じて参加する様にしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・毎回支援の様子を記録し、送迎時や配信を通じて共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1		・家族支援等の時間を活用して事業所に来ていただいたり、訪問したりしている。
保護	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・契約時に重要事項の説明として細かな説明をしている。

者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		・家族支援等の時間を活用して事業所に来ていただいたり、訪問したりして相談に乗っている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	4	・親子で参加していただく活動を企画して交流の機会も設定していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・その都度迅速な対応を心掛けている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・毎月通信や活動予定表を配布し、SNSなどでも日々の活動の様子をお知らせしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			・通信やSNS等は複数人で管理・チェックし、個人情報の漏れがないか確認している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・できるだけわかりやすい説明を丁寧に行うように心がけている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	4	・地域行事には参加しているが事業所が地域住民を招待するような行事はまだ行っていないため、必要に応じて企画していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			・書類にして配布している。 ・いつでも見ることができるよう玄関付近にまとめて置いてある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		・避難訓練や避難生活体験等を活動に組み込み、いざと言う時に備えている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		・研修や、委員会が実施されており、毎月チェックリストの記入をしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		・身体拘束については契約時に重要事項として説明をし、保護者様よりご了承いただいております。運営規定にも記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		・指示書のある児童がいない。 ・必要に応じて適切に対応していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事業所内だけでなく、グループ全体で共有している。